

街かど

みなさんの作品(写真、短歌、俳句、随筆など)や意見を募集しています。原則として必ず取りあげます。黒埼町役場・企画調整課
黒埼町大野二八四三・六七三〇二

善意の立て看板

武田 正さん(立仏)

立仏地区を歩いたり、車で走ったりすると「危いとび出し注意」などという立て看板をたくさん見ることが出来ます。
この立て看板、三年前から立っているのですが、同地区の武田看板店(武田正さん経営)が無償で作られているものです。
今年も、十四本の立て看板を立仏公民館に寄付されました。そして、三月二十日出、公民館役員の有志が雨にもかかわらず看板立てをしました(写真)。

立仏公民館長の阿部寅一さんは「ほんとうに感謝しています。このあたりは道が狭いし、特に通学時は危険ですから、これで安全になると思います」。
また、武田さんの奥さん澄子さんは「冬場の暇があるときに



短歌

短歌会

初鋤きをせむと来たれる畑をはやもぐら通れり縦に横にと
平松清治郎

柏 直樹地

名の高き学者作家等の講演会数々聴ける幸福思ふ
乙川 竹

水浅き小川で魚を追う子らの声は弥生の空にひびけり
金内 セツ

手鏡を持ちて覗きしわが顔の小じわと白髪増して佗しき
野菜売る人が持ち来し奮持つ根付水仙彼岸に購う
小出美喜子

敗戦の負目をもろに担いたる基地を右手にバスは走りぬ
泉井 ヨ子

冬囲解かれし庭樹々枝張りに開放者の如芽を吹きはじむ
酒井 庄平

幾年の苦しき日々を通り来て漸くつかみし今日のしあわせ
宮田 ミイ

俳句

岩見 正子

受験子を雪の駅まで見送りし大試験終えてギターを弾いてをり
合格の一報ありし春炬燵ごんどう

詩

姉 星

佐藤 キン

きらめく星のその中に
ならんで光る星二つ
母さん星に姉星と
呼ばせて欲しい二つ星
別れ惜しさにむせびども
今は天国お星さま
何を話すかチカチカと
星、星、星の流れ星
流れ消えゆく二つ星

高橋
年老いて一日のたのみや黒埼荘唄と踊りに時を忘れて

朝まだき春告鳥のおとづれか寒き戸外にチツチツと鳴く
木もれ陽にみどりの葉こしあざやかに椿の花のあでやかさかな

佐藤 キン
死の近き姉のよこ顔亡き母に天へむかひの使者の近きと

若き日に苦勞せしにと思えども老いて幸せ天の恵と

編集室

▼今号では、婦人会の特集をしました。みなさんが取りあげて欲しいものがありましたら、ぜひお知らせください。
▼広報くろさきでは、一人でも多く町のみなさんに登場していただきたいと思っています。意見や作品のある人は連絡してください。
▼今号の婦人会のボランティア活動、親子レクリエーション、武田さんの立て看板、すべて善意でなりました。このような活動や人たちがよりよい黒埼町を作っていくのだと思います。

